

埼玉県立文書館の改修経験から学ぶ ～アーカイブズ施設に求められること～

埼玉県立文書館は昭和44年（1969）、日本で4番目に設立された歴史のあるアーカイブズ機関で、今年度は50周年に当たります。現在の施設は昭和58年（1983）に竣工し、6月1日から閲覧業務が開始され、以後、埼玉県の文化事業・文書管理・情報公開の一拠点として、その役割を担い続けてきました。

一方で、同施設も30年以上を経て、収蔵能力の確保や空調・照明設備の老朽化等の課題が大きくなり、平成29年（2017）から大規模な改修工事が行われました。そして、50周年となる平成31年（2019）4月2日にリニューアルした文書館が再開館しました。

収蔵能力や設備の問題はアーカイブズ機関にとって不可避な課題です。多くの費用や新たな敷地を要する新施設の建設が困難な中、既存の施設を利用しながら、改修等を行うことでアーカイブズ機能のさらなる充実を図ることは、多くのアーカイブズ機関に共通の課題といえます。また、大規模改修は解決を迫られた課題の克服のみならず、アーカイブズ施設のあり方を改めて考え直す機会でもあります。

そこで、第303回定例研究会では、大規模な改修工事に取り組まれた埼玉県立文書館の経験を共有化し、そこから学び、施設をめぐる課題に備えるべく、「埼玉県立文書館の改修経験から学ぶ ～アーカイブズ施設に求められること～」と題した研究会を開催致します。

改修に際して、どのような議論が行われて計画が立てられたのか、実際にどのように実行されたのか、改修中の資料保存や閲覧体制はどのように確保されたのか、そして、どのような課題が残ったのか等、その経験を踏まえたご報告をして頂きます。また、リニューアルされた施設の見学も併せて行います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

- 1 日時 令和2年1月24日（金）13：30～17：00（受付開始13：00）
- 2 場所 埼玉県立文書館 講座室（〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-3-18）
- 3 日程 ○ 埼玉県立文書館紹介及び改修の概要について（13：45～14：10）
○ 施設見学（14：20～15：40）
○ 講演（15：50～16：30）
「埼玉県立文書館の改修について（仮）」
報告者：太田富康氏（埼玉県立文書館副館長）
○ 質疑応答
※ 終了後、有志による情報交換会（懇親会）を予定しています。
- 4 定員 40名（先着順）
- 5 参加費 全史料協関東部会会員及び非会員共に無料
- 6 申込み 裏面「参加申込書」に必要事項を記入し、**令和2年1月17日（金）まで**に下記事務局あてFAXまたは電子メールでお申し込みください。

■ FAX 029-228-4277

■ E-mail jimukyoku@jsai-kanto.jp

主催：全史料協関東部会

事務局：茨城県立歴史館 担当：石綿・鈴木・長谷川

〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL：029-225-4425